

2018年7月30日

日本メジフィジックス株式会社

京都大学と業務委受託契約を締結 ～ iPS 細胞を応用した世界初の治験に向けて PET 画像診断剤を供給 ～

日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：下田尚志、以下「当社」）は、このたび、国立大学法人京都大学（所在地：京都市左京区、以下「京都大学」）と PET 画像診断剤の製造及び供給に係る業務委受託契約を締結しましたのでお知らせします。今回の業務委受託契約を通じて、京都大学がパーキンソン病を対象に iPS 細胞を応用した世界初の臨床試験を実施するにあたり、当社は PET 画像診断剤を製造し、供給いたします。

京都大学では、世界に先駆けてパーキンソン病を対象としたヒト iPS 細胞由来ドパミン神経前駆細胞移植治療の医師主導臨床試験（治験）が予定されています。この治験の計画には、移植治療の有効性と安全性の評価が含まれており、移植した細胞が正常に機能していることを確認し、拒絶反応の有無について評価することなど、移植細胞や移植された周辺の組織の状態を精密に確認するために非侵襲の PET イメージングによる画像診断法が利用される予定です。

京都大学と当社は 2017 年 5 月に、治験薬 GMP に準拠した PET 画像診断剤の製造及び品質試験法の最適化を行うための共同研究契約を締結し、パーキンソン病に対する iPS 細胞由来ドパミン神経細胞移植治療の臨床試験での PET 診断剤の利用を目指して準備を進めてきました。

当社は、このたびの PET 画像診断剤の供給を機に、iPS 細胞を応用した移植治療の開発と実用化に向けてより一層貢献し、医療の発展に寄与してまいります。

日本メジフィジックス株式会社について

放射性医薬品を用いた核医学検査は、脳卒中、認知症、心臓病ならびに悪性腫瘍など幅広い疾病の診断に有用とされています。日本メジフィジックス (<http://www.nmp.co.jp>) は、住友化学株式会社と GE ヘルスケアグループの合弁企業で、放射性医薬品のトップメーカーとして、高品質な製剤の開発、製造、供給に取り組んでまいりました。核医学によるセラノスティクス（診断と治療の融合）をめざし、今後も医療のさらなる発展のために貢献を続けてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

日本メジフィジックス株式会社

総務人事部（広報担当） 電話 06-4300-5541

Fax 06-6492-2549

本 社

電話 03-5634-7006

Fax 03-5634-5170